



伊那ロータリークラブ



事務所 伊那市西町5016-2 Tel(72)0077 例会日 毎週木曜日 会場 くぬぎの杜 Tel(78)1121
 会長 平澤泰斗 幹事 小河節郎 会報委員長 矢島 豪 第2944回例会 2021.10.7 No.1604



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

2021-22年度RIテーマ

Serve to change lives

ソング 君が代 奉仕の理想

四つのテスト 職業社会奉仕委員会

ビジター・ゲスト紹介

上伊那グループガバナー補佐 松田泰明 様

会長談話 平澤泰斗会長

本日の例会は、松田ガバナー補佐にお越しいただいての例会です。再来週の10月21日の桑澤ガバナーの公式訪問例会の事前訪問ということで来ていただきました。ありがとうございます。



今週は嬉しいニュースが2つあります。5日に真鍋叔郎さんのノーベル物理学賞の授与の発表がありました。昨日は藤澤直前会長より、2020～2021年度の「ロータリー賞」をいただけるとの電話がありました。来年5月22日の地区大会で表彰されるとのことです。2600地区では、上田東、上田六文銭、東御、佐久、丸子の各クラブが受賞されます。

さて、今年のお誕生日の品は、長野県産コシヒカリ4kgです。これは橋爪会員にお願いして、予算内で一番美味しい長野県産のお米を持ってきていただいています。農林水産省のH.Pによりますと、お米の種類は国に品種登録されているうるち米は440品種、主食用として作られているものが285品種あります。この中で作付け面積が多い品種はコシヒカリでして、その中でトップブランドとして君臨しているのは、魚沼産のコシヒカリですが、最近は各県独自のブランド米が栽培されています。青森県では「青天の霹靂」という名前からして驚くブランド米があります。この名前の由来の「青」は青森県の青、「天」は遙かに広がる北の空、「霹靂」は晴れ渡った空に、突如として現れる、稲妻のような鮮烈な存在になりたいとして、名付けられたようです。「青天の霹靂」は、北国特有の低温とたたかひを克服したお米です。品のあるツヤとやわらかさ、炊き立てのやさしい白さが特徴で、食感はお餅のような弾力と自然な甘みが口の中に広がります。粘りとキレのバランスが良く、どんな食材やおかずにも合うよ

うな気がしますし、ごはん自体がご馳走になるようなお米です。「青天の霹靂」は栽培地域だけでなく、栽培基準や生産目標が厳格に管理され、生産者も限定されています。福井県には打倒、魚沼産「コシヒカリ」として開発された「いちほまれ」があります。命名には、「日本一（いち）美味しい、誉れ（ほまれ）高きお米」となって欲しいという思いが込められているそうです。「いちほまれ」は、福井がもてる技術の粋を尽くし、6年の歳月を掛けて開発されたお米です。特徴は「コシヒカリ」よりも粒が揃っていることで、炊き立ては白く輝き、艶があり、粘り、柔らかさ、甘みのあるお米で、毎日食べても飽きないようなお米です。一般財団法人の「食味官能評価」ではコシヒカリよりも高い評価を得ています。この開発から栽培に至るまでをNHKのドキュメンタリーで放送され、それに見て触発されてネットで注文しました。地元のお米も美味しいですが、色々なお米を食べて、自分に合うお米を見つけるのはどうでしょうか。

誕生祝

塚越 寛・小林孝行
 都築 透・宮下金俊
 笠井俊朗



結婚記念日祝

山田 益・立石 誠
 藤澤秀敬・山崎秀亮・堀内厚志・前澤朋欣

在籍祝

塚越 寛(31)・中川博司(31)・都築 透(26)
 山崎秀亮(5)・登内豊明(2)・熊谷史朗(1)



幹事報告

別紙をご覧ください

理事会報告

10月のプログラム・名誉会員慶弔見舞の内規改定(来年度)について・イベントのYouTube等への動画アップについて これらの承認。

出席報告 会員数54名 内出席免除15名
出席者35名 事前メーキャップ2名 出席80.43%

ニコニコボックス

平澤泰斗・小河節郎

松田ガバナー補佐のご来訪を歓迎致します。

中山一郎 伊那RCが顕彰した法華道を、芝平から高座岩まで往復して来ました。

藤澤洋二・小松献臣 RIより伊那RCが「2020-21年度ロータリー賞」を受賞したとの通知が来ました。地区大会で表彰されます。

平出吉範 松田ガバナー補佐ようこそ伊那RCへ在籍祝 中川博司・都築透・山崎秀亮・熊谷史朗 ラッキー賞

堀内厚志・八木択真

原田和愛・藤澤洋二

本郷一博・神山公秀

竹腰哲夫



ガバナー補佐ご挨拶

上伊那グループガバナー補佐 松田泰明様

2022年度RIのテーマは「奉仕しよう皆の人生を豊かにするために」です。

RI会長の方針【全世界の会員を130万人に増やそう】そのためには、一人の会員が一人を入会させてくださいというものです。過去20年間約120万人のまま横ばいだそうです。



Each one, bring one を目指そうではありませんか。ハードルは高いですが、頑張りましょう。伊那クラブさんは、本年度の純増目標は3人とのこと、また増強の工夫も考えておられるようですので、よろしく願いいたします。特に、女性会員また若年会員についても重ねてよろしく願いいたします。

【ロータリー奉仕デーを開催】

実践的かつ行動志向のロータリー奉仕デーのイベントを開催して下さい。このイベントは職業やロータリーとの関係にかかわらず、地域の家族や協力団体とともに、有意義な奉仕に取り組む機会となります。地域社会の人々へのアピールを行い、意義ある行動を広く知ってもらいましょう。ただ、このイベントには次のような条件があります。① 二つ以上のロータリークラブ、ローターアクトクラブ、インターアクトクラブによって計画されたものであること。② ロータリー重点分野に一致している。③ イベントへの関心を高め

るため、少なくとも一つのメディアで周知を行う。④ 参加者の少なくとも25%は、現ロータリー会員ではない。というものです。上伊那グループでは既にご存知の事と思いますが、伊那クラブさん、伊那中央クラブさんそして駒ヶ根クラブさんのご尽力により、11月6日に実施される予定になっております。伊那クラブさんには、実施に当たり平澤会長様はじめ多くの方々に特段のご配慮を頂きまして誠にありがとうございます。

【女子のエンパワーメント（能力向上）】

ロータリーの中核的価値観は、親睦、高潔性、多様性、奉仕、リーダーシップがあります。その中一つが多様性です。ロータリーには、多様性、公平さ、開放性に対する信念を表した公式声明もあります。女子は不利な立場に置かれるが多く、我々は、女子のエンパワーメントに取り組むことが重要です。

どうか、リーダーの皆さんは女子が抱える問題に取り組み、それらを和らげるようにして下さいとのことです。

さて、2600地区のガバナーは、茅野クラブ出身の桑澤一郎さんです。地区の目標は「繋がりを保ち交流と奉仕を充実させよう」です。コロナ禍により私たちの生活は一変しました。しかし、多くのことを学んできています。行動制限にも対応可能であることも学びました。まず、奉仕活動の継続や会員同士の繋がりの基本にある例会の継続を実現するために、オンラインの環境の整備をしてくださいとのことです。今月の月信で、ガバナーが述べられておりますが、ハイブリット型ではどうしても対面が出てしまいます。リスクが避けられません。従って、色々ご意見がおりになるとは思いますが、100%のオンラインが理想的なものになります。このことに関しましては、「全員のオンライン環境」を実現するためにクラブ内の委員会を中心に会員同士が助け合うような風土を作って下さいとのことです。

次に、女性会員の増強と役割について、日本では、先進国の中でも、女性の社会参画や地位の低さが問題となっているところから、女性の機会や地位向上の目指す取り組みを行って欲しいとのことです。そのためにロータリーに女性会員を増やし、彼女たちが自らの問題として捉えていることの解決策を見出し、実践し、クラブの変革の一助となり、更には社会へのアピールを積極的に行っていただきたいとのことです。

例会後、ガバナー補

佐同席にて、クラブ

協議会を開催しました

